

川崎汽船運航 自動車専用船「SIERRA NEVADA HIGHWAY」船内見学会を実施

当協会は、「海と日本プロジェクト」の一環として「船ってサイコ〜2016」と題し、会員会社をはじめ、関係団体と連携し、商船の見学会などを通じて、海運の重要性を一般の方々に広く認識いただくべく広報活動に力をいれております。

特に、学校教育においてわが国の暮らしと産業を支える海運のことを取り上げていただくよう教育関係者に対し資料提供や授業への協力等も実施しております。

今回は、川崎汽船との共催により、3月18日（土）に開催したもので、名古屋市社会科同好会の小中学校の先生7名が名古屋港金城ふ頭にて荷役中の自動車専用船「SIERRA NEVADA HIGHWAY」を見学しました。

船内では同社早川チーム長より自動車物流、自動車専用船の歴史や電車も積むことが可能な構造になっていることなどの説明を行いました。先生方からは、例えば小学校5年生は『貿易』に関し学ぶ機会があるため、航海日数、荷物の行先や入港頻度等に関する説明があると児童にも関心を向けさせることができるなどのコメントがあり、活発な意見交換が行われました。



(船内での意見交換の様子)

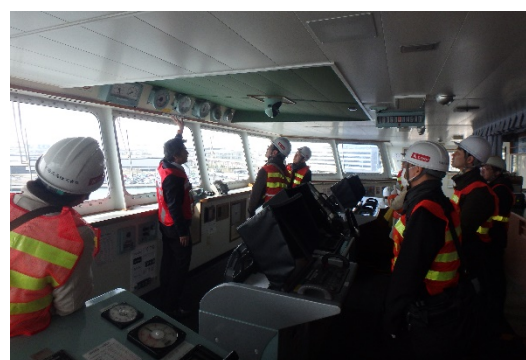
また、自動車の積み込み作業も見学をすることができ、特殊な構造の船内を迷いなく走行する自動車や車両間隔わずか10cmの駐車を寸分違わずこなすプロの技術を間近にして「迫力がある。児童・生徒にもぜひ見せたい。」などの感想が寄せられました。

さらに犬飼首席海務監督の案内でブリッジ（船橋）やエンジンルーム、船長室等も見学し、航海機器や船内設備にも興味を持たれた様子でした。

当協会は引き続き会員会社と連携し、日々の暮らしを支える海運について広く知っていただくための活動を実施してまいります。



(自動車の積み込み作業を見学)



(ブリッジの航海機器の説明)